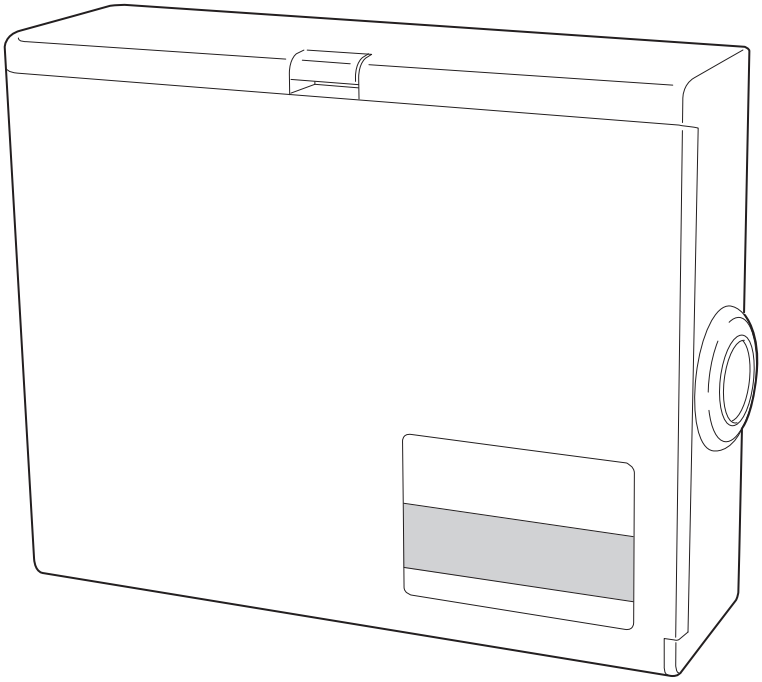
LAMP® マグナロックIFコントローラー MG-IF1000 施工説明書



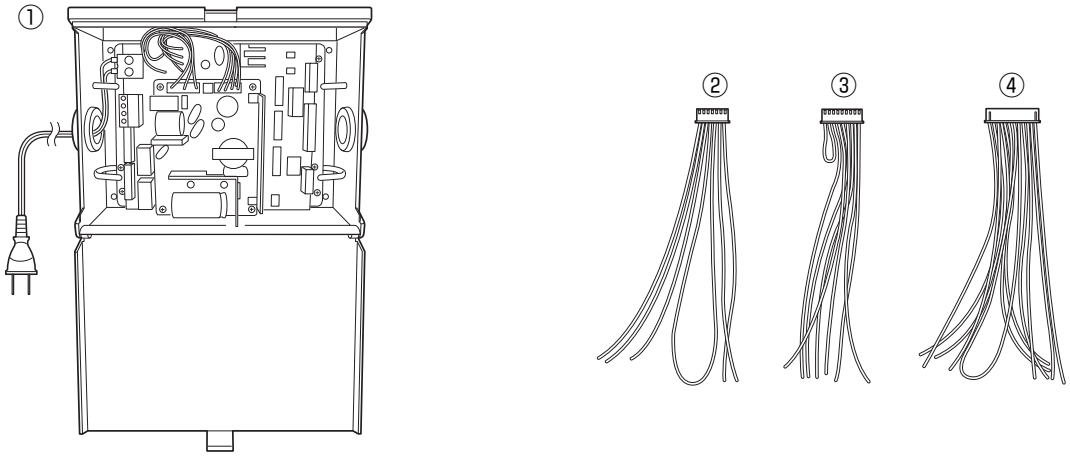
■施工業者の方へのお願い

この作業は、電気工事士の資格が必要です。
取付前に本書をよくお読みいただき、正しく施工されるようお願いいたします。

⚠ 注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

- 🚫 本機を分解、改造しないでください。
- ❗ 必ずAC100Vの電源を使用してください。
- 🚫 施工完了までは、電源に接続しないでください。
- 🚫 電動ドライバーは使用しないでください。
- ⚠ 消費電力が許容範囲内であれば、マグナロックを複数接続できますが、制御は一系統ですので個別に施解錠させることはできません。

■各部の名称



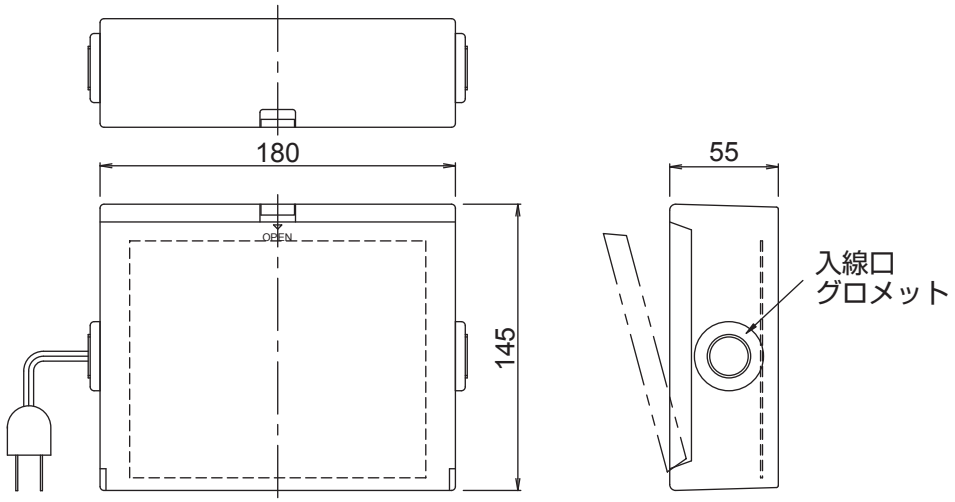
① 本　体	1台
② 付属コード1: 7芯コネクター付電線 150mm(マグナロック接続用)	1本
③ 付属コード2: 9芯コネクター付電線 150mm(他社制御盤接続用)	1本
④ 付属コード3: 12芯コネクター付電線 150mm(外部機器接続用)	1本

■仕様

品　番	MG-IF1000
回線数	1回線
ケース材質	ABS樹脂
ケース色	ライトグレー

制御方式	CPU制御
電源	AC100V 50/60Hz
使用温度	0～40°C
質　量	約800g

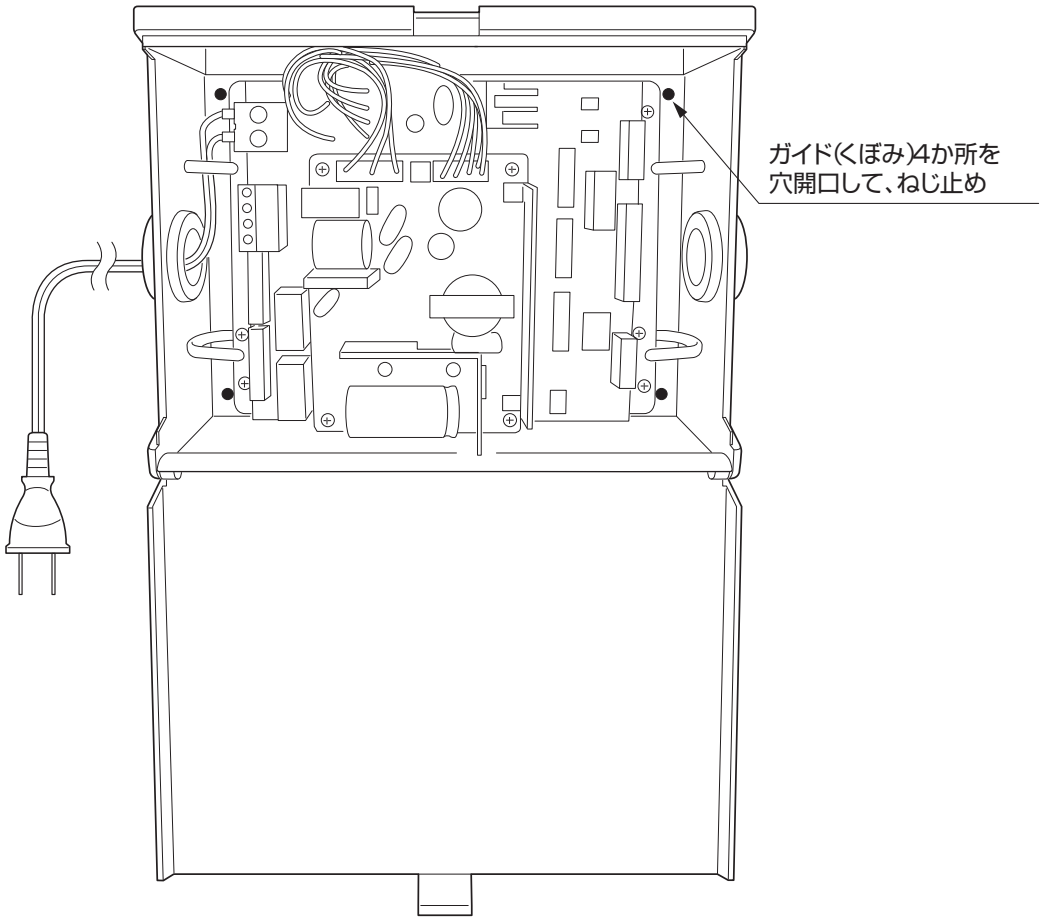
■外形寸法図



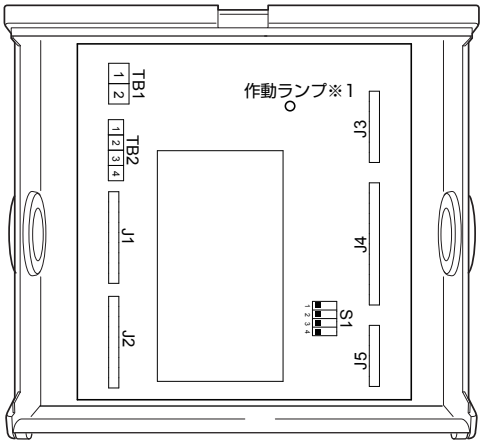
■設置場所について

- 天井裏などに設置する場合は、水漏れ、振動、腐食性ガス、ホコリなどのおそれのない平坦な場所に設置してください。
- 屋外や湿気の多い場所には設置しないでください。
- 子供やペットがいる場合、触れることがないよう床から高さ1m以上の手の届かない場所に設置してください。

壁などに固定する場合は、底板四隅の下穴ガイドを目安に穴をあけて、ねじ(現場手配)で固定してください。



■端子説明



※1運転中緑点滅。　J5は使用しません。

TB1 電源(AC)

番号	信号名	備考
1	AC100V(L)	ACケーブル接続済み
2	AC100V(N)	ACケーブル接続済み

TB2 電源(DC)

番号	信号名	備考
1	DC OUT	DC24V出力
2	GND	GND
3	BT IN	バッテリー (DC24V)入力
4	GND	GND

J1 他社製インターフェース接続 (マグナロック Bタイプ用)

線色	信号名	備考
茶	DC24V	DC24V入力 (施錠時)
青	GND	GND
橙	扉開閉信号	無電圧接点信号 (ドアセンサー)
白	扉開閉信号	
黄	解錠信号	無電圧接点信号 (マグナロック)
黒	COM	
赤	施錠信号	
黒	SEL+	B信号切替用
黒	SEL−	

J2 他社製インターフェース接続 (マグナロック スタンダードタイプ用)

線色	信号名	備考
茶	DC24V	DC24V入力 (施錠時)
青	GND	GND
橙	扉開閉信号	無電圧接点信号 (ドアセンサー)
白	扉開閉信号	
黄	解錠信号	無電圧接点信号 (マグナロック)
黒	COM	
赤	施錠信号	
黒	SEL+	B信号切替用
黒	SEL−	

J3 マグナロック

線色	信号名	備考
赤	DC24V	DC24V出力 (施錠時)
黒	GND	GND
灰	扉開閉信号	無電圧接点信号 (ドアセンサー)
灰	扉開閉信号	
橙	解錠信号	無電圧接点信号 (マグナロック)
白	COM	
緑	施錠信号	

J4 外部操作、表示、入出力(操作子機など)

線色	信号名	備考
黒	COM	COM(DC24V出力)
緑	一回解錠	一回解錠信号
黒	COM	COM(DC24V出力)
茶	連続解錠 (1ショット)	連続解錠信号 (1ショット)
青	COM	COM(DC24V出力)
青	連続解錠 (ブレイク)	連続解錠信号 (ブレイク)
黒	COM	COM(DC24V出力)
赤	電源	電源
黒	COM	COM(DC24V出力)
黄	開錠	開錠信号
黒	COM	COM(DC24V出力)
白	開扉	開扉信号

■接続手順

1 マグナロックを接続する

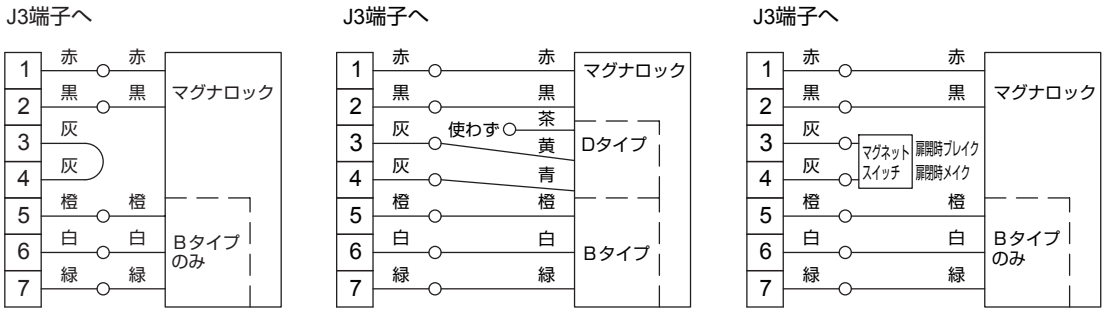
① 配線は、左右どちらかのグロメットを通して行ってください。

② マグナロックの電線と付属の7芯コネクター付電線をそれぞれの色を合わせて接続してください。
（下図参照）
③ 電線のコネクターを本体のJ3端子に接続してください。

マグナロックにはスタンダードタイプ(2芯)と
マグナロックのドアへの吸着状態を確認できる
機能を付加したBタイプ(5芯)があります。
いずれのタイプも接続方法は同じです。

扉の開閉状態を見るためマグネットスイッチ
などを接続する場合、３、4のループを解き、
そこに接続してください。

BDタイプ(8芯)を接続の場合、3、4
のループを解き接続

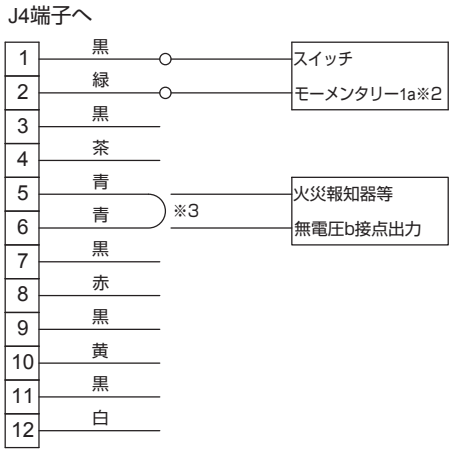


使用しない電線は絶縁処理をしてください。
この状態でマグナロックの作動確認をする場合は、電源入力の他に付属の12芯コネクター付電線をJ4端子に接続したうえで行ってください。

2 操作器(スイッチ)を接続する

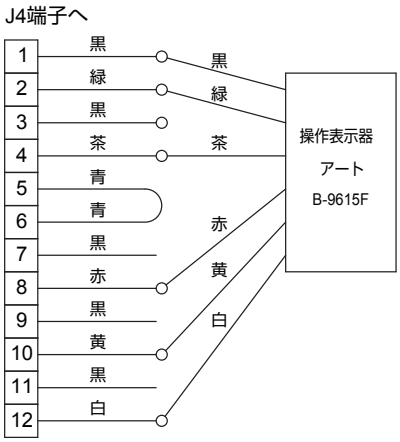
① 操作器の電線と付属の12芯コネクター付電線を接続してください(下図参照)。
② 電線の端子を本体のJ4端子に接続してください。

※2.メイクし続けている間、本体タイマーに関係なく解錠状態になります。タイマーでメイクを保持するタイプのスイッチは、タイマーを最短にしてください。
※3.青のループを切り、それぞれを接続してください。



機器接続時以外、5、6（青）は切断しないでください。

〈他社制御盤用操作器の接続例〉



5、6（青）は切断しないでください。

3 他社制御盤と接続する

他社制御盤(通電時施錠型錠種設定のあるタイプ)に接続して他社制御盤からの制御でマグナロックを操作できます。

① 付属の9芯コネクター付電線を他社制御盤へ接続してください。

② 電線の端子を本体の端子に接続してください。
マグナロックBタイプおよびBDタイプを使う場合はJ1端子に、スタンダードタイプを使う場合はJ2端子に接続してください。
マグナロックIFコントローラーのディップスイッチ(S1)の3をONに切り替えてください。

〈ご注意〉

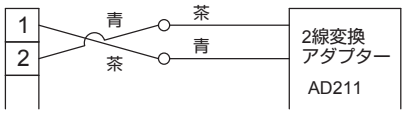
① 「通電時施錠型」錠種設定のないもの、「自動判別」設定しかない制御盤とは接続できません。

② 他社制御盤を使ってマグナロックを操作する場合、マグナロックIFコントローラーに接続した操作器は使えなくなります。他社制御盤側の操作器を使用してください。
解錠時間も他社制御盤の設定によります。

③ 制御盤の機種によっては出力の極性が逆になっているものがあり、同色の線を結線しても作動しない場合があります。

その際は本コントローラーのJ1あるいはJ2端子の結線色と逆につなぎ換えてください。※4
1=茶→青=制御盤
2=青→茶=制御盤
となります。

※4.

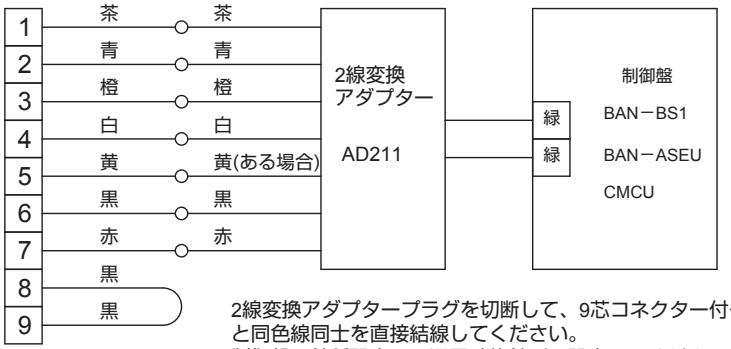


施工完了までは、電源に接続しないでください。
・他社制御盤と接続した場合でもマグナロックへの電力はMG-IF1000の電源で動かします。
MG-IF1000もコンセントから電源をとってください。

以下に、3 タイプの制御盤の接続例を記載します。
ただし、いずれも動作確認はしておりますが、動作保証をするものではありません。

美和ロック製制御盤

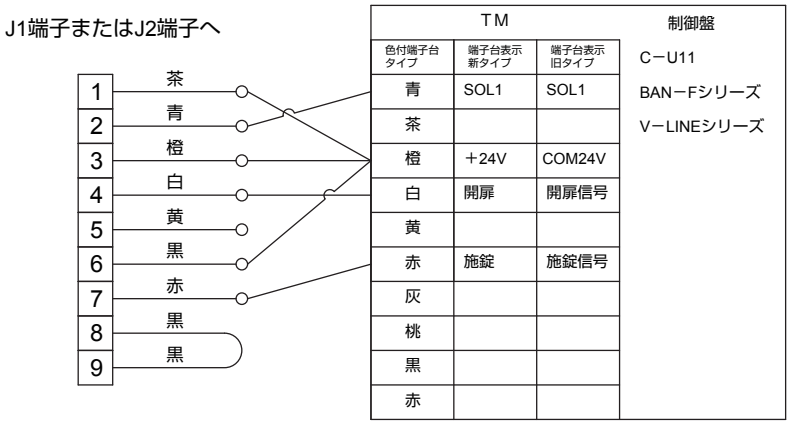
BAN-BSシリーズ、CMCUシリーズ
(製造時期により接続できないものがあります。〈ご注意①参照〉)



2線変換アダプタープラグを切断して、9芯コネクター付ケーブルと同色線同士を直接結線してください。
制御盤の錠種設定は、通電時施錠型に設定してください。

アート製制御盤

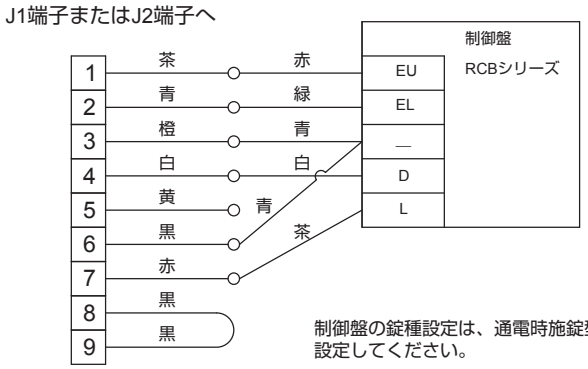
C-U11色付端子台タイプ、BAN-Fシリーズ、
V-LINE (端子台表示新)シリーズ



制御盤の錠種設定は、通電時施錠型に設定してください。

ゴール製制御盤

RCBシリーズ

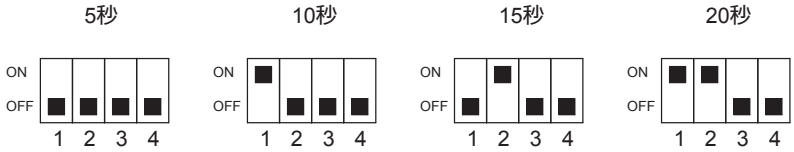


制御盤の錠種設定は、通電時施錠型に設定してください。

4 ディップスイッチで設定を行う

本体内基板上のディップスイッチ(S1)で、以下の設定を行ってください。

① マグナロックの解錠時間を設定します。
ディップスイッチの1及び2の設定により、5秒、10秒、15秒、20秒の4段階に設定することができます。



② 他社製制御盤を接続した場合(他社制御盤に接続した場合、解錠時間も他社制御盤の設定によります)
ディップスイッチ3をONにします。

他社製　制御盤を接続する場合

他社製　制御盤を接続しない場合

〈ご注意〉

- 他社制御盤を使ってマグナロックを操作する場合、マグナロックIFコントローラーに接続した操作器は使えなくなります。他社制御盤側の操作器を使用してください。
解錠時間も他社制御盤の設定によります。
- ディップスイッチ4は予備用につき使用しません。

5 その他

- 運転中は本体内の作動ランプ(緑)が点滅します。
- 解錠中に操作器から追指令を出しても解錠時間は延長されません。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお願いいたします。

電話番号 03(3864)1122
受付時間　月～金　9:00～17:30（年末・年始・夏季休暇等は除く）
FAX 03(3863)6875
E-mail：support@sugatsune.co.jp
東京都千代田区岩本町2-5-10　〒101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー
ISO 9001(JSAQ384)・ISO 14001(JSAE597) 審査登録
※ISO9001: 物流 WEST を除く、国内拠点　※ISO14001: 千葉工場および物流センター (SBC)
http://www.sugatsune.co.jp/
2018.11　0335-4